

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	ゆめの園みらいず大宮 児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> 似たような活動にならないよう、新しい活動を取り入れるようにした。 利用者様からのリクエストを活動内容に反映した。 活動等なるべく偏らないように、活動自体に飽きが少なくなるように意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様やご家族様にアンケートを取って、どんな活動を行ってほしいかの調査を行い、出来る限りで意見を反映していく。 次年度から定員が少なくなることで、外出等今までと比べてより広域での活動を行っていく。 お持ち帰りできるような作品づくりを行えるような活動も行っていく。 活動の様子を連絡帳に写真を添付する。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	外部の作品展や発表会に参加し、地域との繋がりを持つ機会を設定した。	より多くの方が充実して利用できるようにするため、新設のクラブを設立する予定。
3	定期的にSNS等で発信している。	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子や利用者様の様子を多く発信するようにしている。 月1回は上げることが出来るよう、広報担当で作成している。 必要な写真を職員全体で撮っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様やご家族が見やすい媒体を利用していく。 HUGの連絡帳にて写真を添付していく。 イベントがあった時には都度動画やXの投稿をする。 利用者だけでなく職員が研修に参加したり事業所内研修を行った場合は発信していく。
4	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成している。	<ul style="list-style-type: none"> 個別面談を実施。連絡があった場合は悩み等も助言している。 個別更新やモニタリングなど一人の職員だけでなく、複数の職員からの意見を聞き、普段の支援記録も複数の職員で行っているため、視点が偏らない。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度から定員が10名になることで、1日に個別で対応できる時間が増えるため、より密度の高い支援を行っていく。 専門的な療育に繋がるように、療育支援ソフトや教材の導入と活用を行っていく。
5	放課後等デイサービスと同じ時間帯・同じスペースで支援を実施している為、お手本となる人を見つけることが出来る。	活動時など、お友達と関わる事が出来る時には、職員が間に入り、関係性の構築に繋げている。	積極的に年上のお友達とペアを組んでいただき、関わりの幅を広げていけるよう支援していく。
6	クラブ活動を全体で行っている為、幅広い分野への関心を広げることが出来る。	クラブに所属する方以外にも、クラブメンバーと同様の内容を提供している。	より専門的な内容を教えることが出来れば、利用者様の関心がより広がると考える為、ボランティア講師などの活用を検討している。
7	限られた時間の中での保護者とのやり取りや情報共有はおおむね満足していただいている。	引継ぎ時や連絡帳などで、エピソードを交えての情報共有を行っている。	活動時の写真を、連絡帳にアップしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様全体に向けた研修会や情報提供の機会を設定できていない。 ・ご家族様からの需要があることを把握しきれていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方のに向けたアンケートを取るなど、どんな研修や情報を求めているのかを把握する。 ・把握した情報を元に、研修会や情報提供の機会の設定を検討していく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	ご家族にもご参加いただけるイベントを用意していたが、参加人数が限られていたこともあり偏りが出来てしまった。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族も参加できる活動やイベントを定期的に企画していく。 ・外出活動や合同行事の際に保護者に参加してもらえよう環境を作る。
3	認定こども園や保育所との交流、地域の子どもの交流があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との繋がりを持つ機会を設定が少なかった。 ・土祝は近くの公園等の外出が少ないため、地域の子どもと一緒にすることも少ない。 	近隣の公園の利用や児童館などの利用を含め、児童の方も参加できる交流の機会を用意していく。
4	保護様が、利用者様の様子を見ることが出来る機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の見学の場や、参加型のイベントを用意できていなかった。 ・連絡帳に写真などを添付できていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施の検討や、保護者向けの見学会を検討していく。 ・HUG連絡帳への、活動時の写真を添付していく。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2025年3月14日

事業所名: 児童発達支援 ゆめの園みらいず大宮 児童発達支援・放課後等デイサービス

対象人数(保護者)4人 回答者数 3人 回収 75%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3				
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	3				
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	1			
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3				
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3				
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	3				
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3				
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3				
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	1		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3				
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3				
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		3			
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3				
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2		1		
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	1		
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	1			
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3				
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常時等の対応	㉓ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3				
	㉔ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3				
	㉕ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				
	㉖ 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	㉑	こどもは安心感をもって通所していますか。	3				
	㉒	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	1		子どもの気分によります	「楽しいそう」「面白そう」と感じていただけるような、プログラムや行事を提示できるように努力していきます。
	㉓	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表 事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		ゆめの園みらいず大宮 児童発達支援・放課後等デイサービス				公表日	2025年 3月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		・法律上では適切だと思うが利用者様の特性や状況(特定の職員との距離が近い等)があった際にもう1人欲しいと思ったことはある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		・必要に応じて相談室に入ることではできるとは思います。が、基本的に入ることのできない部屋なので、自由に使用できる個別の部屋はないのかなと思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		・HPIが上がっている23年度の評価表では、2名の回答しか得られていないので、もう少し多くの意見を聞けたらいいのではないかと思います。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・伝達研修やジョブメドレーの実施を行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			・朝礼を毎朝行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	8			・終礼を行い、議事録を作成している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8				
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			・管理者兼児発管が出席している。
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1			
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2			
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2			
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	4			
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7			
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8					
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8					

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7	・2024年度は試験的にみらいず本郷との合同運動会を実施した。ご家族も招待した事で、わずかながらの交流の場を設定した。	・ご家族参加型の行事や、家族会の設定を今後検討していく必要がある。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			・訓練の実施については、それと意識できるようにしていく必要がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2		・年間行事に避難訓練などを位置付けていく事が必要。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	4	・アレルギーの有無について保護者から聞き取りを行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8			

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	ゆめの園みらいず大宮 児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平日もプログラムを用意している為、利用者様のへ活動の提供の幅を広げることが出来る。 (事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫)	・同じプログラム内容でも、1週間ごとに内容を変えることで、利用様の楽しみにつながっている。 ・似たような活動にならないよう、新しい活動を取り入れるようにした。 ・利用者様からのリクエストを活動内容に反映した。	・より幅広いプログラムの実施と共に、利用者様やご家族様にアンケートを取って、どんな活動を行ってほしいかの調査を行い、出来る限りで意見を反映していく。 ・次年度から定員が少なくなることで、外出等今までと比べてより広域での活動を行っていく。 ・お持ち帰りできるような作品づくりを行えるような活動も行っていく。 ・活動の様子を連絡帳に写真を添付する。
2	自立活動を定期的に行っている。	・利用者様の個別計画に合わせた内容を提供している。 ・ご家族様からのニーズをここで満たすことが出来ている。	・提供内容をあらかじめ決めておき、より利用者様にあったものを提供する。
3	定期的にSNS等で発信している。	・月1回は上げることが出来るよう、広報担当で作成している。 ・必要な写真を職員全体で撮っている。 ・活動の様子や利用者様の様子を多く発信するようにしている。	・イベントがあった時には都度動画やXの投稿をする。 ・平日の活動も発信していく。 ・利用者だけでなく職員が研修に参加したり事業所内研修を行った場合は発信していく。 ・利用者様やご家族が見やすい媒体を利用していく。
4	個別支援計画や支援の内容は全体的に満足していただいている。	個別更新やモニタリングなど一人の職員だけでなく、複数の職員からの意見を聞き、普段の支援記録も複数の職員で行っているため、視点が偏らない。	・次年度から定員が10名になることで、1日に個別で対応できる時間が増えるため、より密度の高い支援を行っていく。 ・専門的な療育に繋がるように、療育支援ソフトや教材の導入と活用を行っていく。
5	限られた時間の中での保護者とのやり取りや情報共有はおおむね満足していただいている。	引継ぎ時や連絡帳などで、エピソードを交えての情報共有を行っている。	活動時の写真を、連絡帳にアップしていく。
6	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	外部の作品展や発表会に参加し、地域との繋がりを持つ機会を設定した。	より多くの方が充実して利用できるようにするため、新設のクラブを設立する予定。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外出活動が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・定員と職員数の関係で、外出活動の設定が少なかった。 ・実施できていた外出活動は、短時間の物が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員数が15名から10名に変更する事で、次年度から機会の設定は容易になってくると予測されるので、外出の回数と増やしていく。 ・年間行事で1回は遠足のような1日外出を設定していく。
2	保護者間の交流が少ない。	保護者の見学の場や、参加型のイベントを用意できていなかった。	保護者参加型イベント実施の検討や、保護者向けの見学会の検討をしていく。
3	保護様が、利用者様の様子を見ることが出来る機会が少ない。	連絡帳に写真などを添付できていなかった。	連絡帳への写真の添付を積極的に行っていく。
4	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が無い。	近くの公園等に行く機会が少ない。	定期的に近隣にある公園(佐知川公園や八王子公園)を利用していく。曜日によっては、学童保育利用児童が公園を利用している事があるので、少しずつ交流を図っていきたい。
5	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様全体に向けた研修会や情報提供の機会を設定できていない。 ・ご家族様からの需要があることを把握しきれていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方のに向けたアンケートを取るなど、どんな研修や情報を求めているのかを把握する。 ・把握した情報を元に、研修会や情報提供の機会の設定を検討していく。
6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	専門的な支援を行える職員がいない。	療育支援ソフト及び教材の導入を検討していく。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2025年3月14日

事業所名：放課後等デイサービス ゆめの園みらいず大宮 児童発達支援・放課後等デイサービス

対象人数(保護者)46人 回答者数 36人 回収 78.3%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	4		教室が狭い様に感じました。	2025年度からは、定員が15名から10名となります。現在使用しているデイルームをそのまま使用しますので、手狭感は解消されるかと思います。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	6			
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	4			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	2			
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35		1	いつもお世話になり、ありがとうございます。 子供の性格や特性にご理解をいただき、安心して通所させていただいています。 苦手だった時間の感覚をつかむことも、支援をしていただき、時間内で支度や片付けなど。 以前より、苦手意識が少なくなってきたようです。	今後も、ご利用者様が出来る事を1つでも多く出来るようになるよう、支援を頑張っていきたいと思います。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っているとと思いますか。	34	2			
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	36				
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	2	1	家族で、お世話になりありがとうございます。 子供も、家族も安心してお願いをしています。 細やかなご支援をしていただき、とても助かっています。	
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36				
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	1		子どもが楽しめるプログラムを作成していただいでいて、子どもも笑顔で帰ってきます。ありがとうございます。 いつも登園を楽しみにしている様子です。活動で作った作品も、家で飾っています。	今後も「楽しい」と感じていただけるようなプログラムや行事を企画していきます。
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	16	5	ダンスクラブで地域のイベントに出演させて頂いて交流の機会がありました。 特に必要性は感じておりません。 ダンスクラブの発表会や、書き方の作品展示もあり、地域交流の機会がありがたいと思います。	毎年参加している「市民のつどい」については、今後も継続して参加していきます。 地域交流を目的とした、「ゆめはびフェス」についても来年度以降も継続予定です。 上記以外にも、作品展やダンス発表の場が広がるようにできればと考えています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	2			
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	2		ウェブでのモニタリングで説明して顶けました。	
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	16	4	親が研修会に参加した事がないから。平日は利用していないのでこちら(利用者側)が情報を見逃していると思います。特に必要性を感じておりません。	現状、個別の療育相談程度の対応しかできていないのが現状です。事業所として行える、ご家族参加型の研修会や、情報提供の機会について模索していきます。
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	34	2		保護者でも分かりにくい、家以外での様子や特性も理解していただいていると感じています。とても、助かります。	今後も日々の申送りや連絡帳などでのやり取り、面談などでご利用者の状況を把握しつつ共通理解が出来るように、情報共有などを行っていただければと考えています。
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	3		利用時のやり取りの際に相談をすると丁寧にお返事を頂いています。	今後も定期的な面談は必ず実施していきます。並行して、お電話やHUGメッセージでのご相談についても、積極的にお答えしていきます。必要に応じて、突発的な面談も実施していきます。
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36			特性や、話しに耳を傾けてくださり、子供が安心出来る居場所だと思います。	
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	14	14	ゆめはび祭りなど保護者(ご兄弟)が参加出来るイベントを開催して頂きました。わかりません。特に必要性を感じておりません。運動会でもお世話になり、ありがとうございました。仲良くしているお子様の保護者の方とも、楽しく交流させていただきました。	合同運動会やゆめはびフェスなど、ご両親・ご兄弟の方々にも楽しんでいただけるイベントを企画・開催できればと思っています。
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	5		朝の連絡時の相談をした際など、返信の段階で職員に周知して頂いたり迅速に対応して頂きました。学校等情報を共有していただき、支援していただき、とても助かります。	必要な情報共有や対応については、今後も迅速に対応していきます。
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	4		細やかなお心遣いをいただきまして、いつもありがとうございます。	
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	35	1		ホームページ、通信等丁寧に作成されていると感じます。ホームページには平日の様子は見られないように思います。	平日の様子については、ご指摘の通り発信している情報が少ないように思います。毎月発行している広報誌では、どうしても休日イベントの内容が中心となってしまっていますが、平日の様子も発信していくようにしていきます。
㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	1				
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	9			
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	11	1	わかりません	
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	4	1		
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	28	8		経験がないので不明	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	36			とても信頼している様子です。	
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	35	1		とても楽しみにしています いつもお友達や、職員の方々とお話を本 日させていただいたり、楽しみにしていま す。	
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	35	1		成長期で心と体のバランスが難しい時 期に丁寧に対応してありがとうございます。 送迎など臨機応変に対応してもらい大 変助かってます。 学区外になり平日は通えなくなりました が、子どもはゆめの園に行くのをいつも とても楽しみにしています。 今後もどうぞよろしく願っています。 家族でお世話になり、ありがとうございます。 細やかなお心遣いに感謝をしています。 これからも、どうぞよろしく願いたし ます。	

公表

事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名		ゆめの園みらいず大宮 児童発達支援・放課後等デイサービス			公表日	2025年 3月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・パーティションを用いて、用途に合わせた室内設定が可能	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		・当日のご利用者様の人数と、当日の職員人数のバランスが悪い事がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		・気持ちを落ち着かせたりするための自由に使用できる個別の空間は無いのかなと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2		・23年度の評価表に対する回答が2名だったので、もう少し多くの保護者さまからのご意見を聞けたら良いのではと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・1on1フィードバックミーティングやアンケートなどで意見を把握する機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・似たようなプログラムが続かないように意識はしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			・「どちらの活動？」ではなく「活動に参加するかしないか」といった選択になりがちである。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・必要に応じて学校と情報共有を実施中。学校とのやり取りは対面での会議の他に、補助的に文章やメールでのやり取りもやっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4		・現状、緊急に共有が必要な事態が無い為行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		・情報提供の申し入れがあり、ご家族様等の了承が得られれば対応している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		・地域協議会への参加を通じて、児童発達支援センターとの連携をやスーパーバイズ等を受けられる関係性作りが課題
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	・地域の公園に遊びに行くなどして、徐々に交流できる機会を持つようになっている。	・現状積極的な交流の場は無いが、公園の利用時などで一緒にいる事がある程度なので、徐々に関係性を構築していく事が課題。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3		・地域協議会への参加をしている。児童分野の役員もやっている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		・個別での相談という形での対応に留まっているので、少しずつ家族支援のプログラムを構築していく必要がある。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・年2回の個人面談で対応している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・送迎時やお電話などで対応する事が多いが、必要に応じて定期以外の面談も実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		8	・事業所主催のイベントに保護者の方にご参加いただくことで、保護者様同士の交流の機会になっていると思われる。	・法人内事業所同士の交流を含めて、保護者様参加型の行事も計画していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		・HUGを使う事で、連絡帳の位置づけの物にも写真添付をする事で、文章以外でも様子をお伝えするよう心がけている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・写真関係の同意書については、定期的に更新するようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2		・職員によっては、定期的に行っているという認識を持っていないようなので、その点を意識しての訓練実施が課題。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2		・食物アレルギーの方の医師の指示書についての確認が曖昧になっている点が課題。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	・窓が大きい為、解放したままにならないように、補助錠を使用している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		・ご家族への周知が行き届いているか、一部不安な面もあるので、周知のサイクルなども再検討していく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				